

広報みはま

MIHAMMA

美浜の夜に咲き誇る春の訪れ

May.2023

5

No.628



4 「観光誘客・おもてなし環境づくり」の推進

町と若狭美浜観光協会等の事業者が一体となって誘客活動の強化と接客意識の醸成による「心あたたまるおもてなし環境」の整備を図るため、にぎわいゾーンの一角である美浜町観光センター内（美浜駅）に観光行政を担う部署を移転し、名称を「**観光誘客課**」（観光戦略課を改称）に改めました。



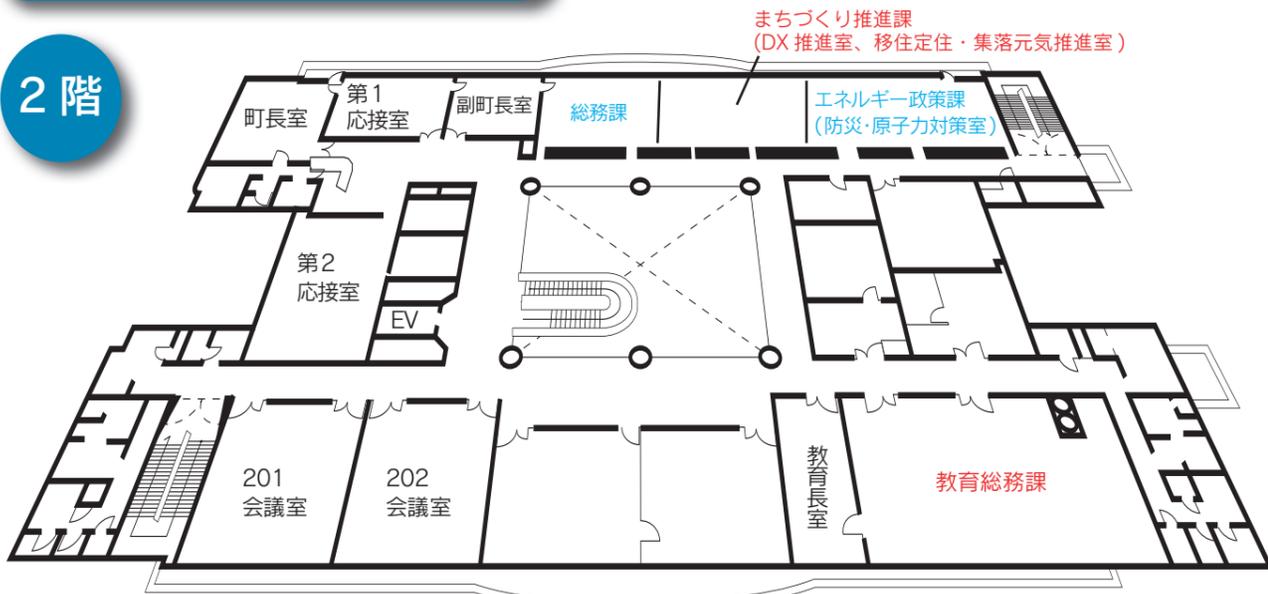
5 組織名の改称

- ①産業振興に係る企画・立案を強化し、活気あふれる産業振興を推進するため「産業振興課」を「**産業政策課**」に改めました。
- ②ICTやAI等のデジタル技術を活用することで社会をより豊かにするDX(デジタル・トランスフォーメーション)の視点がますます重要になることを踏まえ、「情報化推進室」を「**DX推進室**」に改めました。

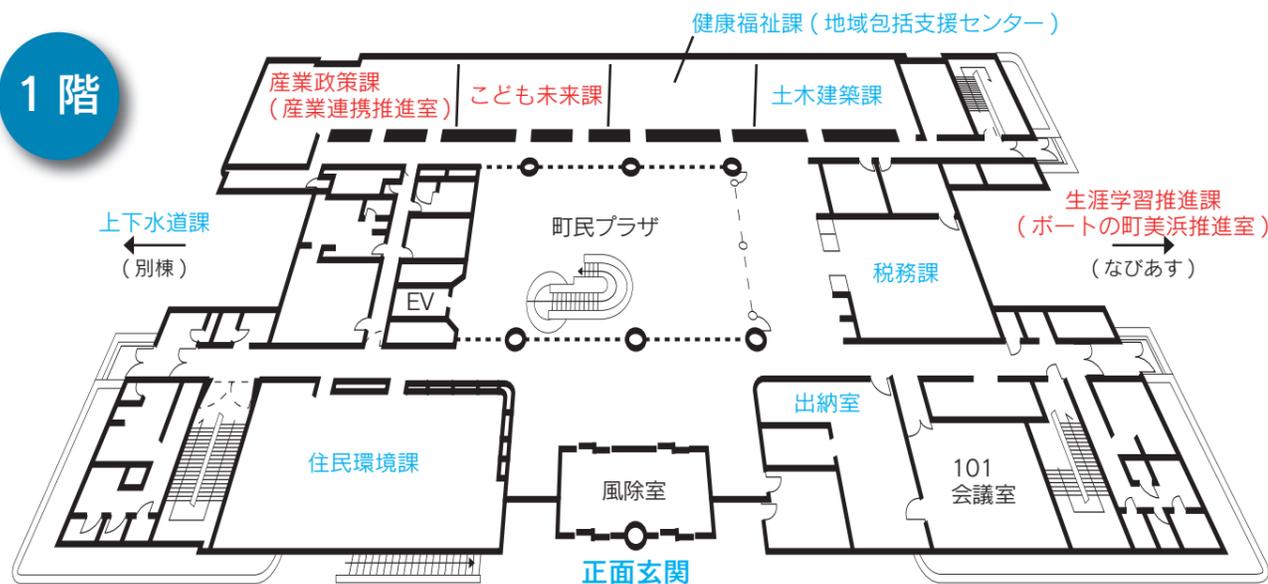
美浜町役場 庁舎見取り図

※改編した部署を赤字で表記

2階



1階



※3階は変更ありません。

役場の組織が変わりました



今年度は、「地域愛あふれる豊かなまちづくり」の実現に向け、町の最上位計画である「第五次美浜町総合振興計画」をはじめ、人口減少対策や美浜創生の取り組みを定めた「第2期美浜創生総合戦略」等を効果的・効率的に推進するため、4月1日に組織を改編しました。改編内容は次のとおりです。

1 「きめ細やかな子ども・子育て支援」の充実

教育部門を含めた全庁横断的な総合調整を担う「**子ども政策統括幹**」を新設し、子ども政策の企画立案強化や支援体制の充実を図りました。また、持続的・効果的な子育て支援サービスの提供と機動的・包括的な子育て支援施策を行う「**子ども未来課**」を新設し、成長ステージに合わせた切れ目のない、きめ細やかな支援を展開します。更に、子ども・子育て施策における福祉及び教育の施策を一体的に推進するため、教育委員会内に学校教育を所管する「**教育総務課**」を設置しました。



2 「防災・減災対策」の充実強化

町民の生命・財産を守るための防災・減災対策を最重要課題として、各関係課の技術的課題に対する助言や指導技術職員の育成、技術力向上等、幅広い指導に関する業務を担う「**防災・技術統括幹**」を新設し、インフラ等のハード面の強化や公共施設の長寿命化を総合的に進めていきます。更に、技術職員を土木建築課に集約し、防災・技術統括幹の指導・監督のもと、機動的かつ効果的な体制を構築しました。



3 「人づくり・地域づくり」の推進

美浜町教育大綱に掲げる基本目標を着実に推進するため、教育委員会内に「**教育総務課**」と「**生涯学習推進課**」を設置し、迅速な意思決定と事業展開による機動的な執行体制を構築しました。



わたしの夢、語ります
 中谷 颯汰 さん 美浜中央小学校 6年 (河原市)

いつか見つけに

僕の夢は、たくさんの生き物を探して、まだ誰も発見していない新種を見つけることです。

新種を見つけたいと思うようになったきっかけは、保育園の時に配られた中池見湿地のチラシを見て、実際に足を運んだことです。

中池見湿地では、生き物のことをいろいろと教えてもらい、それ以来、中池見湿地に通うようになりました。今でも通っていて、珍しい生き物や在来種を守るために、外来種を捕獲する罠を仕掛けています。

いつか中池見湿地に生息する生き物の名前が全部分かるようになって、新種を見つけられるように頑張りたいです。

第3次美浜町地域福祉計画を策定

町 では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりの実現を目指し、この度、第3次美浜町地域福祉計画を策定しました。



計画の詳細は、全戸配布している概要版または町ホームページをご覧ください。

▼計画の位置付け

本計画は、社会福祉法に基づく「市町村地域福祉計画」で、福祉分野の上位計画として高齢者や障がい者、児童、健康づくり等の福祉に関する諸計画を総括し、福祉の向上を目指すものです。

▼計画の検討

策定にあたっては、美浜町社会福祉協議会や美浜町民生児童委員協議会等の町内団体代表者等による「美浜町地域福祉計画策定委員会」を設置し、町民・関係団体へのアンケート調査や第2次計画の検証等の結果に基づき、町の現状や課題を明らかにし、その課題解決に向けた方向性や具体的な取り組みについて協議を重ねました。

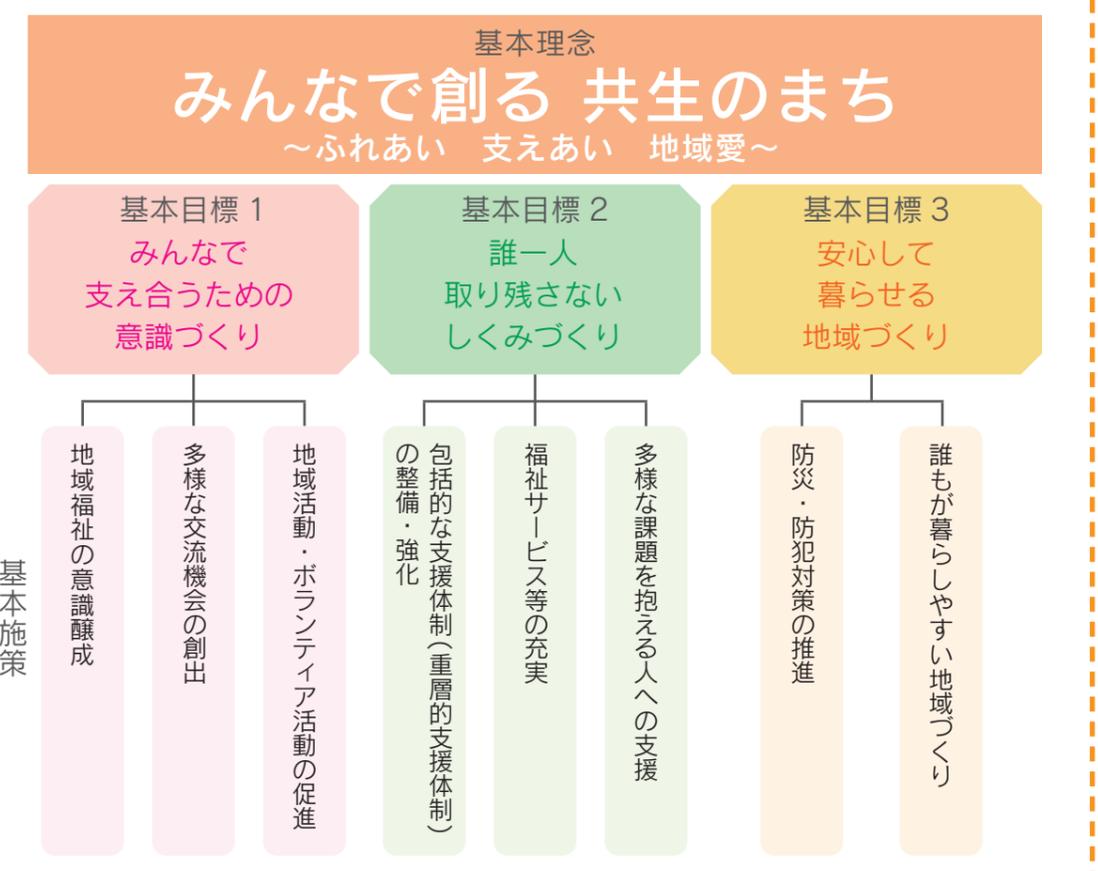
▼計画の内容

実施した後、3月7日に戸嶋町長に答申。これを受け、町が策定しました。

本計画では、地域のつながりの希薄化や地域における担い手不足の進行、地域課題の複雑化・複合化等といったさまざまな課題に対し、住民や地域、関係機関、団体、行政等がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら協働で取り組む方向性をまとめていきます。

特に、みんなで地域を支えている意識の醸成や必要な時に必要な情報を得ることができる仕組みづくり、美浜町社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」との連携を重点ポイントとしており、今後は本計画に基づき、地域共生社会の実現に向け、さまざまな施策を展開していきます。

第3次美浜町地域福祉計画 体系図



※お問い合わせ先
 町健康福祉課(担当・芝井)
 ☎ 32-6704

CONTENTS 目次 広報みはま2023年5月号

- 2 役場の組織が変わりました
- 4 私の夢、語ります／表紙の写真／目次
- 5 第3次美浜町地域福祉計画を策定
- 6 第二次美浜町環境基本計画を改定
- 8 第4次美浜町男女共同参画推進計画を策定
- 9 美浜町のニュース
地域おこし協力隊が活動を報告／農業経営改善計画認定書を交付
- 10 美浜町レイクセンターが開業
- 12 まちウォッチング
三方五湖開き／菅浜わくわくかん完成記念式典／美浜町防災士研修会 他
- 14 情報BOX
令和5年度 美浜町区長名簿／連休中のごみ収集・受け入れのお知らせ 他
- 20 美浜発電所の状況について
- 21 ふるさと昔よもやま話133／文芸欄
- 22 すこやか放送局
- 24 ハートフル広場
はじめてパースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 ぐらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



3月30日に撮影した木野農業担い手センターの桜です。
 例年よりも早く満開を迎えた本町の桜は、例年と変わりなく、我々に春の訪れを知らせてくれました。

木野の桜は、区の奉仕作業により毎年ライトアップされており、日中の桜とはまた違った夜桜を一目見ようと多くの人で賑わっていました。

第二次美浜町環境基本計画を改定

◆計画改定の経緯

第二次美浜町環境基本計画は、美浜町環境基本条例に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、町民や事業者、町が環境保全に積極的に取り組んでいく基本方針を定め、平成29年3月に策定されました。

同計画の期間は10年間で、中間時期を迎えたことから、近年の社会情勢やこれまでの取り組み結果等を踏まえ、計画の改定を行いました。

◆計画改定の方法

今回の改定にあたっては、町民によるワークショップや事業所で挙げられた課題等をもとに、環境に関する学識経験者や各種団体の代表者等で構成される「美浜町環境審議会」で協議を重ね、本年3月にはパブリックコメントを実施。それらの結果を踏まえ、美浜町環境審議会の津田直昭会長（津田コンサルタント事務所長）が戸嶋町長に答申し、これを受けて町が策定しました。



↑計画を答申する津田会長（右）

◆改定の概要

計画では、本町が目指す環境像を実現するため、5つの柱を基本目標として、町民や事業者、行政が連携して取り組む具体的な内容を定めました。

また、脱炭素社会の実現に向けて、令和12年度の温室効果ガス削減目標を基準年度である平成25年度に比べ46%以上削減することを目指します。

更に、長期的な目標として、国の「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します」

◆SDGsとの関連性

計画では、町が目指す環境像の実現に向けて、環境施策を推進する際、SDGsとの関係性を明確化（見える化）しています。

また、多様な主体と連携することで、複数の社会課題の同時解決につながることも、脱炭素社会や循環型社会等、持続可能な社会への移行を目指します。

◆目指す環境像

豊かな未来につなぐ 人にも地球にも優しい 循環共生のまち

◆基本目標

基本目標①	未来のみはまを守り 発展させる 脱炭素のまちづくり	脱炭素社会の実現に向けて、新たな暮らし方の普及やまちづくりを進めます。また、地球温暖化の進行により高まると予測されている異常気象へのリスク対策（適応策）も進めます。
基本目標②	限りある資源を大切に 活用するみはまの 循環型まちづくり	循環型社会の実現に向けて、3Rの取り組みを徹底します。また、漂着ごみの原因となるごみのポイ捨てを減らしたり、効率よく回収・資源化するための取り組みを進めます。
基本目標③	みはまの自然を 守り育む 共生のまちづくり	自然と共生したまちづくりに向けて、山・川・湖等、多様な自然環境の保全・活用を進めます。また、貴重な生き物の保全や鳥獣害対策により、生物多様性の保全につなげます。
基本目標④	暮らしの安心安全を守る みはまの生活環境づくり	暮らしの安心・安全を守るため、大気や水、土壌等、生活環境を守るための取り組みを継続します。また、美しいまちなみの保全に向けて、環境美化や不法投棄対策を進めます。
基本目標⑤	みんなが進んで 学び行動する みはまの人づくり	基本目標①から④を進めるため、環境保全活動を担う人材の育成や各主体の連携強化、また、活動への支援を進めます。

◆重点施策

本計画では、基本目標を踏まえ、特に取り組む必要性が高く、施策全体を牽引する効果が期待され、環境像やSDGsの実現に貢献する3つの取り組みを重点施策として位置付けています。

重点施策① 脱炭素 みはまスマートコミュニティプロジェクト

取組概要	取組み例
2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする国や県の目標の実現に向けて、町域のエネルギー削減に貢献するまちづくりや脱炭素型ライフスタイルの普及を進めます。	◆「美浜町エネルギービジョン」と連携した脱炭素型スマートコミュニティの形成 ◆国の「GX実現に向けた基本方針」に基づく環境負荷の少ないエネルギーの利活用の推進 ◆徒歩や自転車、公共交通機関等、自動車に頼らない移動手段の利用促進やCO ₂ 排出量の少ない次世代自動車の普及促進
施策の柱	
①スマートコミュニティの形成・活用に向けた取り組みの推進 ②運輸部門のCO ₂ 排出量削減に向けた取り組みの推進 ③脱炭素社会に貢献するライフスタイルの普及啓発	 ↑EV車のカーシェアリング

脱炭素社会の実現

重点施策② みはま 美しい浜・海・湖のクリーンプロジェクト

取組概要	取組み例
海洋ごみやポイ捨てごみの原因となる使い捨てプラスチックごみへの対策を進めるとともに、観光客・地域住民のマナー向上に向けた取り組みを強化します。 また、町が誇る美しい浜や海、湖の景観や生態系の保全を進めます。	◆使い捨てプラスチックの利用を減らすための取組支援 ◆「美しい浜プロジェクト」における海・浜の保全推進 ◆企業と連携して海岸漂着物の廃プラスチック等の利活用推進 ◆多様な生き物の生息・生育場所の保全と環境学習の場として活用
施策の柱	
①プラスチックごみ削減に向けた取り組みの推進 ②海洋ごみ処理等の取り組みの推進 ③浜・海・湖の景観及び生態系の保全 ④浜・海・湖の利用客への意識啓発	 ↑美しい浜プロジェクト

自然環境の保全、漂着ごみの処理コスト・労力の改善へ

重点施策③ ごみ削減 みはまスマートチャレンジプロジェクト

取組概要	取組み例
ごみ処理コスト削減に向けて、食品ロスや生ごみをはじめとするごみ排出量の削減や循環型社会に貢献する暮らし方の普及を進めます。	◆賞味期限の近い防災備蓄食品の有効活用 ◆生ごみ処理機等の購入補助 ◆ごみ排出の少ないライフスタイルの普及に向けたチラシ等の作成
施策の柱	
①食品ロス削減に向けた取組の推進 ②生ごみの減量化、資源・活用に向けた取り組みの推進 ③ごみの少ない（ない）暮らし方の普及に関する情報発信	 ↑生ごみ処理機

循環型社会の実現、ごみ処理コストの改善

※計画の詳細は、町ホームページをご覧ください。 [第二次美浜町環境基本計画](#) [検索](#)

※お問い合わせ先

町住民環境課（担当：川尻）
☎ 32-6703



美浜町の魅力を体感・発信

地域おこし協力隊が活動を報告

■お問い合わせ先
町観光誘客課(担当・中瀬)
☎32-6705



↑活動報告の様子



↑前田義博さん(溪流の里で活動)



↑時任清矢さん(三方五湖DMO(株)で活動)

3月22日に、町役場で地域おこし協力隊の活動報告会が行われました。報告会では、令和2年4月から活動している前田義博さん(兵庫県出身)と令和3年4月から活動している時任清矢さん(大阪府出身)が報告を行いました。

前田さんは、溪流の里の運営やテレビ番組への出演によるPR、魚の飼育管理・養殖に挑戦したことを報告し「釣りに使う魚は、20cmから30cmで、痩せすぎず太らせすぎない状態を保つことが難しかった」と話していました。

時任さんは、カヤックのガイドや若狭路センチュリーラ

イド2022等の大規模イベントの運営に携わったことを報告し「大きなイベントがどのように作り上げられるのか、勉強の毎日だったが、今後も一緒に活動しているスタッフの方々と美浜町を盛り上げていきたい」と話していました。

前田さんは、3年の任期を終え、4月からは溪流の里に勤務し、時任さんは、引き続き地域に根ざした活動を続けていきます。

また、4月1日より新たに小田将史さんが美浜町レイクセンターで活動を開始しています。(関連第25頁)



効率的で安定した農業経営を目指して

農業経営改善計画認定書を交付

■お問い合わせ先
町産業政策課(担当・竹内)
☎32-6706



今回認定を受けた経営体名(敬称略)	住所	認定種別	写真位置
福田 新 八	郷 市	新規	前列左
農事組合法人 わいわい楽舎	新 庄	再	前列左から2番目
若 野 繁 晴	菅 浜	再	前列中央
由 利 博	佐 田	再	-
合同会社 太兵衛	河原市	再	-
山 本 光 雄	菅 浜	再	前列右から2番目
アグリト株式会社	山 上	再	前列右

4月5日に、町役場で農業経営改善計画認定書の交付式が行われました。同計画の認定は、農業経営基盤強化促進法に基づき、町が地域の実情に応じた効率的で安定的な農業経営の目標となる「基本構想」を作成し、その目標達成に向け、農業者が作成する農業経営改善計画を町が認定するものです。

計画の期間は5年間で、町からの計画認定により、さまざまな支援を受けることができます。

今回は、次のとおり町内の1経営体を新規認定し、6経営体を再認定しました。

今後、町では、認定農業者の計画達成に向けて、さまざまな支援措置を講じていきます。

第4次美浜町男女共同参画推進計画を策定

町では、3月に「共に「ひと」としてはあとふる愛・あいプランⅣ」(第4次美浜町男女共同参画推進計画)を策定しました。

この計画は、男女共同参画社会の実現を目指すために、令和5年度から9年度の5年間で計画期間として策定したものです。

■計画策定の背景

男女共同参画社会とは、男女が互いを尊重し合い、職場や学校、家庭、地域等の社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会のことです。

今回、第3次計画の計画期間終了に伴い、第4次美浜町男女共同参画検討委員会を設置して、国や県、町内の状況を踏まえながら、第4次計画について協議を重ねました。本年3月には策定委員会の濫谷政子委員長(福井大学教授)が戸嶋町長に提言し、これを受けて、町が策定しました。



計画の詳細は、全戸配布している概要版または町ホームページをご覧ください。

■第3次計画からの変更点

第4次計画では、前計画と比べて次の点の強化・拡充を行いました。

●ライフスタイルの充実

福井県は、他県に比べ共働き率が高い一方、男性の家事・育児の時間が女性に比べ少なくなっていることから、県が行う「共家事」を推進する。

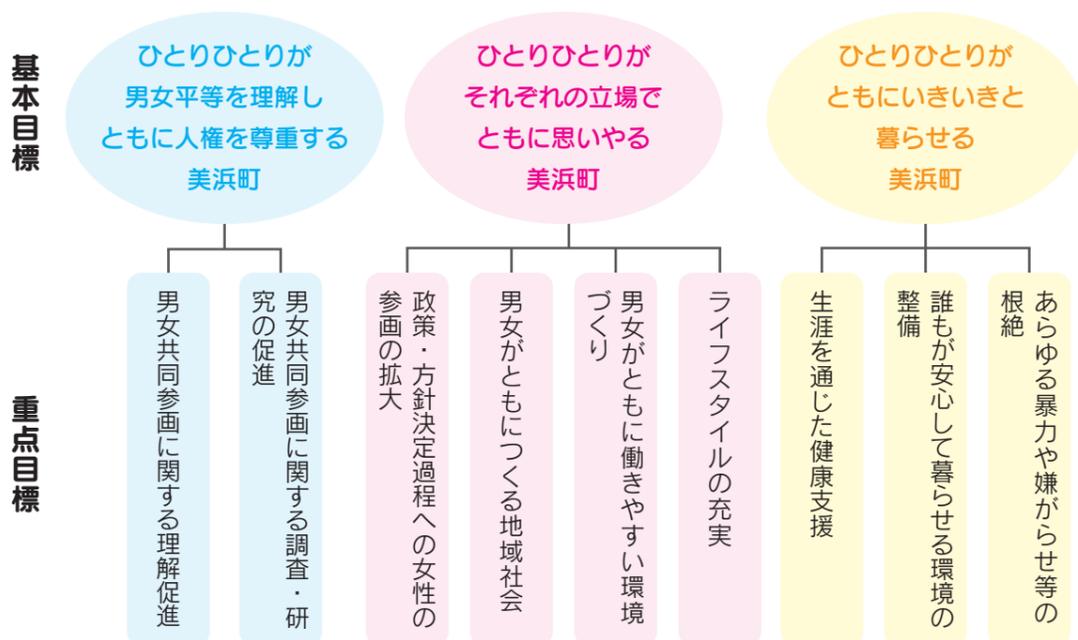
●集落における男女共同参画の推進

町民・集落アンケートの結果より集落における男女共同参画が進んでいないことから、美浜町人権尊重啓発協議会(集落評議員)とも連携を図りながら、集落への意識啓発活動を行う。

■今後の推進に向けて

町では、今後、第4次計画に基づき町民一人ひとりの意識啓発活動や推進体制の充実等を行い「男女共同参画のまち」を目指します。

第4次美浜町男女共同参画推進計画 体系図



※お問い合わせ先
町まちづくり推進課(担当・南)
☎32-6701

美浜町レイクセンターが開業

4月12日に、美浜町レイクセンターと再生可能エネルギーで航行する遊覧船としては国内初となる電池推進遊覧船のオープニングセレモニーが開催されました。

オープニングセレモニーには、国をはじめ、県、若狭町、漁業・商工・観光関係者等、約70人が出席しました。

セレモニーでは、電池推進遊覧船の愛称とイメージキャラクターが発表されたほか、テープカットやみずうみ保育園の園児によるバルーンリリース、(一財)チアドリームプロジェクトによるチアダンス等が行われ、三方五湖における観光拠点施設の門出を祝いました。



◆浦見川航行の安全対策

電池推進遊覧船の航行ルートは、美浜町レイクセンターを発着とし、久々子湖から浦見川を通過して水月湖に抜け、折り返すルートとなっています。

四季折々の彩りを見せる三方五湖遊覧の名所「浦見川(運河)」は、約360年前に水害対策として開削された人工水路であり、川幅が狭隘で水深が浅く、更に蛇行していることから、遊覧船と他船が擦れ違ふことが困難な場所です。

そこで、町では、福井県や若狭町と連携し、電池推進遊覧船をはじめ、漁船や競技用ボート等が浦見川を安全に航行できるように、遠隔で監視・操作する安全航行システムを構築しました。

このシステムは、再生可能エネルギーを動力とするもので、浦見川出入口に、船の航行状況を表示する電光掲示板を設置するとともに、河川内を監視するカメラ、また、河川内の滞留者に注意喚起を促すスピーカーを配備し、更に、河川の水位計と流向・流速計のデータ、すべてを無線通信回線により遠隔監視・操作するもので、全国初のシステムです。

町では、今後も、福井県や若狭町、指定管理者である三方五湖DMO(株)等と連携し、河川利用者への周知を図り、安全を最優先に、三方五湖の魅力を発信していきます。



↑電池推進遊覧船の航行ルート



↑美浜町レイクセンターに設置された管理パソコン



↑美浜町レイクセンターのホームページでは、浦見川の映像をリアルタイムで公開



↑タブレット端末の画面



↑浦見川歩道橋に設置した注意喚起スピーカー



↑浦見川(水月湖側)に設置された電光掲示板と監視カメラ



乗船券No.1とNo.2を購入された瀧 博文さん(右) =敦賀市= 瀧 さち子さん(左)

快適な三方五湖クルーズでした!

30年ほど前に遊覧船に乗って以来の乗船でした。当時は、エンジン音を響かせながら進む船でしたが、電気で進む船に乗ると聞いて、友達に招かれて乗船しました。

電池推進遊覧船は音が静かで、とても

乗り心地が良かったです。ガイドさんには、三方五湖や浦見川、野鳥のこと等を詳しく教えていただき関心しました。

水鳥が飛来する時期だと、近くで観察できて、なお良いのではないかと思います。

若狭町で育ち、現在は敦賀市に住んでいます。電池推進遊覧船に乗って、三方五湖の魅力を再認識しました。

◆電池推進遊覧船の愛称

電池推進遊覧船の愛称は、1号船が「Coot(和名:大鵜)」、2号船が「Grebe(和名:鳩)」です。

電池推進遊覧船は静粛性が高く、湖面を泳ぐ水鳥を想像させることから、船名は三方五湖に生息する鳥の名前を採用しています。

イメージキャラクターは、それぞれの特徴をモチーフに、愛嬌ある親しみやすいデザインとしています。

1号船「Coot」

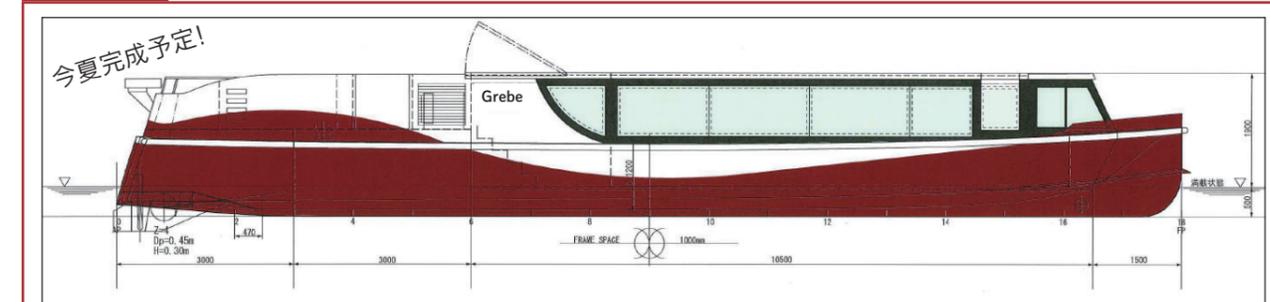


- 【主要寸法】全長18m、幅3.8m(最大3.94m)、全高2.2m
- 【材質】FRP製
- 【総トン数】14トン
- 【客席数】27席(最大40人)
- 【建造事業者】大谷造船工業株式会社(福井県美浜町)
- 【その他】リチウムイオン2次電池(298kWh)搭載

イメージキャラクター



2号船「Grebe」



- 【主要寸法】全長18m、幅3.8m、全高2.5m
- 【材質】軽合金製(アルミ)
- 【総トン数】約14トン
- 【客席数】31席
- 【建造事業者】株式会社空兵衛造船所(滋賀県大津市)
- 【その他】リチウムイオン2次電池(298kWh)搭載

イメージキャラクター



※お問い合わせ先 町観光誘客課(担当・武田) ☎32-6705

↓選手宣誓を行う美浜中学校 森田心々夏さん(左)と石丸風芽さん(右) ↓力強く艇を漕ぐ選手たち



全国から選ばれた 96 人が力漕
第18回
全国中学校選抜ボート大会

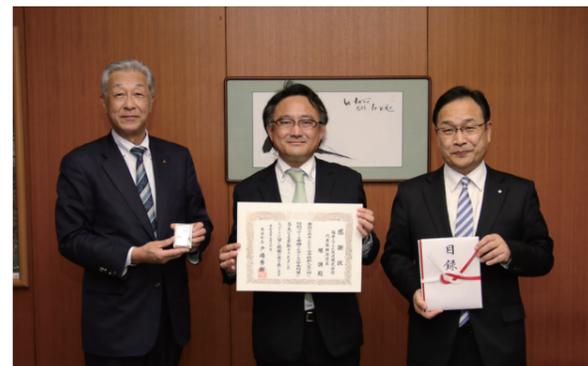
【大会結果(敬称略)】

	男子の部	女子の部
優勝	柴原 琢臣 (琵琶湖漕艇場BRC)	菊地 芽李 (愛知東郷ボートクラブ)
2位	仲倉 準翔 (鳥取ジュニアRC)	天内 李音 (津幡南中学校)
3位	駒田 地洋 (岡山ジュニアローイングクラブ)	内田 萌菜 (瀬田北中学校)
4位	中嶋 文穂 (ぎふジュニアボートクラブ)	鶴見 柚葉 (浜松市立入野中学校)
5位	赤瀬 龍生 (菊池ローイングクラブ)	楨本 唯 (米子漕艇クラブ)
6位	伊藤 太陽 (宮島ローイングクラブ)	天野 楓奈 (河口湖北中ボート部)
7位	圓目 海人 (SARA)	三村 真由 (琵琶湖漕艇場BRC)
8位	宮田 射知 (大沢野中学校)	小松 亨佳 (小松市立丸内中学校)
9位	野沢 海愛 (大沢野中学校)	義本 遥加 (小松市立丸内中学校)
10位	和田 涼太郎 (浜松市立入野中学校)	伊田 和生 (米子漕艇クラブ)
11位	遠山 聡大 (清風中学校)	和田 千依 (河口湖北中ボート部)
12位	城生 壘伎 (富山市立楡原中学校)	黄瀬 一花 (瀬田北中学校)

3月18日から19日にかけて、第18回全国中学校選抜ボート大会が県立久々子湖ボートコースで行われました。

本大会には、全国から96人の中学生が参加し、シングルスカルでタイムを競い合いました。大会結果は次のとおりです。

↓感謝状を受け取った堀社長(中央)



町内の小学校新入学生へ
防犯ブザー贈呈

3月30日に、福井エフエム放送(株)の堀謙社長が町役場に来庁され、町内小学校の新1年生へ防犯ブザーの贈呈を行いました。

このブザーは、平成15年から毎年贈呈されているもので、20回目の今年は、町から感謝状が送られました。

堀社長は、「子どもたちの安全安心のため、この防犯ブザーを役立ててもらいたい」と話されていました。

↓ドローンによる空撮のデモンストレーション



万が一に備えて
美浜町防災士会研修会

3月24日に、美浜町防災士研修会がはあとびあいで開催されました。

この研修会は、美浜町防災士会の会員を対象に毎年開催しているもので、防災士ら23人が参加しました。

講師を務めた福井高専の岡本拓夫教授は「地震に津波や積雪が組み合わさると地形の特性により集落の孤立が発生する」と指摘し、参加者に災害のリスクを説明していました。

↓電池推進遊覧船「Coot」から黄金の鍵の投湖を行う戸嶋町長(左)



今年も観光シーズンがやってきた
三方五湖開き

4月1日に、三方五湖開きの山開きがレインボーライン山頂公園で、4月12日に湖開きが美浜町レイクセンターで行われました。

神事には、美浜・若狭両町長が出席し、レインボーライン山頂公園では「かわらけ投げ」が、美浜町レイクセンターでは「黄金の鍵と花束の投湖」が行われ、1年の賑わいと安全を祈願しました。



↑かわらけ投げを行う戸嶋町長(左)

↓テープカットをする出席者たち



本格ピザを提供するカフェや託児所を完備
菅浜わくわくかん完成記念式典

3月21日に、「菅浜わくわくかん」の完成記念式典が同施設で開催されました。

この施設は、地域のコミュニティ機能の活性化を図るため、区民が出資し設立された合同会社菅浜わくわく協働体が旧菅浜保育所を改修し整備したものです。

当日は、施設の見学会やカフェメニューの試食会が行われ、多くの参加者で賑わいをみせていました。

↓若狭高校と対戦する美方高校



球春到来
美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会

4月1日から2日にかけて、第53回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会が美浜町民野球場で開催されました。

本大会には、嶺南の高校5校が出場し、熱戦が繰り広げられました。

結果は、若狭高校が敦賀気比高校との決勝戦を制し、19年振りの優勝を収めました。



まちウォッチング
atching

令和5年度 狂犬病予防注射 の日程をお知らせします



令和5年度の狂犬病の予防集合注射を次の日程で行います。犬を飼っている方は、「狂犬病の予防注射」を最寄りの会場で受けてください。

当日都合の悪い方は、年度内に動物病院で狂犬病予防注射を必ず受けてください。狂犬病予防注射は、法律により1年に1回接種しなければなりません。

飼い犬の登録をしていない方は、集合注射会場または町住民環境課、動物病院で飼い犬の登録をしてください。登録は、生涯に1度です。既に登録済みの方は予防注射のみ受けてください。

また、飼い犬が死亡したり、飼い主や住所等に変更があった場合は、町住民環境課に届け出をお願いします。

新規登録の場合

区分	料金
犬の登録手数料	3,000円
予防注射料金	2,750円
注射済票交付手数料	550円
合計	6,300円

注射のみの場合

区分	料金
予防注射料金	2,750円
注射済票交付手数料	550円
合計	3,300円

※お釣りが無いようご協力をお願いします。

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・田辺憲虎) ☎ 32-6703

接種日時・場所 5月18日(木)

会場	時間
すがはま生協	9:30 ~ 9:37
北田集落センター	9:45 ~ 9:50
佐田公民館	9:55 ~ 10:05
農村婦人の家(山上)	10:10 ~ 10:17
坂尻消防小屋前	10:25 ~ 10:30
安江集会所	10:40 ~ 10:45
新庄山村開発センター	10:55 ~ 11:05
上野生活改善センター	11:15 ~ 11:25
木野担い手センター	11:35 ~ 11:42
町役場前	13:10 ~ 13:30
大藪生活改善センター	13:45 ~ 13:50
日向バス停	14:00 ~ 14:13
久々子生活改善センター	14:27 ~ 14:35
体育センター(久々子)	14:45 ~ 14:55

※会場には、予定時間より早めにお集まりいただくようお願いします。

軽自動車税(種別割)の減免申請について

町では、軽自動車税(種別割)について、身体障がい者の方等に対する減免制度を設けています。

- 該当車両
 - ・ 障がい者が所有する車両
 - ・ 18歳未満の障がい者のために、生計を一にする者が所有し運転する車両
 - ・ その構造が専ら障がい者等の利用に供するための車両(車椅子移動車等)

※軽自動車・普通車合わせて1人1台のみ対象のため、普通車や別の軽自動車です。すでに減免を受けている方は減免を受けられません。

※減免の対象となる障がい者の等級には決まりがあります。

お知らせ

美浜町役場

〒919-1192 美浜町郷市 25-25
☎ 0770-32-1111(代表)
FAX 0770-32-1115(代表)
HP <https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>

● 申請に必要なもの
① 納税通知書 ② 車検証 ③ 運転免許証
④ 身体障害者等手帳
※納税通知書は5月中旬発送予定
● 申請期限
5月24日(水)まで
※軽自動車税(種別割)の納期限7日前まで
☎ 32-6702

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

民生委員・児童委員をご存知ですか。民生委員・児童委員とは厚生労働大臣から委嘱されたボランティアで、地域住民の立場から生活上の心配ごとや悩みごと等の相談に応じ、必要な支援が受けられるよう専門機関への「つなぎ役」を担う方々です。

町では、各地区を担当する「民生委員・児童委員」と、児童福祉を専門とする「主任児童委員」が活動しています。心配ごとや悩みごとを1人で抱えていませんか。民生委員・主任児童委員は地域の身近な相談相手です。

暮らしの中で困りごとがあるときは、担当区域の民生委員・児童委員までお気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。

☎ 32-6704
町社会福祉協議会(事務局)

令和5年 美浜町区長名簿

令和5年の各区長・自治会長は、次の方々です。(敬称略)

行政区名	氏名	行政区名	氏名	行政区名	氏名
早瀬	上野山 弘司	和田	今安 潤吉	小倉	山口 博孝
笹田	田辺 正	木野	江戸 正幸	栄	仲島 太一
日向	高橋 駒夫	佐柿	小畑 陽一	坂尻	倉田 勝之
気山	山口 淳治	麻生	窪 安和	山上	金田 英男
大藪	丸安 陽平	中寺	富田 拓己	太田	山崎 強志
金山	和田 洋	宮代	大村 浩之	佐田	田中 勝己
久保	浅田 和哉	小三ヶ	武長 保廣	北田	野崎 淳一
郷市	八木 秀一	新庄	高木 伊佐男	菅浜	吉本 稔
松原	寺崎 正義	野口	上尾 航司	竹波	山本文 昭
久々子	武田 信司	佐野	大塩 宇一郎	丹生	納谷 昇治
矢筈	奥村 正直	上野	前田 博信	けやき台	堂野 寛
河原市	米田 彰	興道寺	西野 民男	美し野	柳 攻成
南市	竹本 三代一	雲谷	秋山 克巳		

※お問い合わせ先 町総務課(担当・今安) ☎ 32-6700

美し美浜の地域愛活動を行う

団体を表彰します

町では、町民の地域を愛する気持ちの醸成を目的に、継続的に社会貢献活動を行っている団体及び地域愛の醸成に資する活動を行っている団体を表彰します。

● 表彰基準①

次のいずれの要件も満たす団体
・ 町内において、自発的に社会貢献活動を行っている団体
・ 町内における活動を概ね10年以上継続し、今後より一層の活動が見込まれる団体

● 表彰基準②

次のいずれの要件も満たす団体
・ 町内において、地域や次代を担う人材育成に寄与し、郷土への誇りと愛着心を育む活動を行っている団体
・ 町内における活動を概ね3年以上継続しており、今後より一層の活動が見込まれる団体

● 推薦方法

表彰基準を満たす団体があるときは、町民や町内団体、行政等が推薦書により推薦します。

● 表彰スケジュール

・ 推薦書の提出 8月31日(木)
・ 表彰審査委員会 9月5日(月)
・ 表彰式 11月頃

※推薦書の様式は、町ホームページから取得できます。

※表彰を公正かつ適正に行うため、表彰審査委員会を設置します。

☎ 32-6701
町まちづくり推進課(担当・山本)

三方五湖エリアで飲食空間・宿泊空間づくりに取り組む方を支援します



募集・申請等

町では、多様な自然を満喫できる三方五湖エリアにおいて、観光客の周遊及び滞在を促進するため、地域資源を満喫できる飲食空間及び宿泊空間づくりに取り組む方への支援を行います。



■補助対象者

町内の三方五湖周辺地域において、地域資源を活かした飲食施設または宿泊施設を新規出店する者

■補助要件

次のいずれにも該当すること

- ①三方五湖エリアが有する地域資源を満喫できる新たな誘客コンテンツとして、飲食空間または宿泊空間づくりを行う事業であること。
- ②三方五湖エリアにおける観光客の周遊及び滞在の促進に資する事業であること。
- ③3年以上継続して営業する見込みであること。
- ④原則として当該施設を週4日以上営業する見込みであること。
- ⑤政治的若しくは宗教的な活動または特定の者のみを対象とする事業でないこと。

■補助対象経費

経費の区分	補助対象経費
工事請負費	事業に要する建物の工事請負費(新築、改修)
委託料	測量設計・監理等の業務委託料
備品購入費	事業に必要となる設備・備品等の購入費
その他	町長が事業に必要と認める経費

■補助額

補助対象経費の3分の2
※上限額は600万円

■応募期限

5月15日(月)

■採択方法

審査会により採択事業を決定

■その他

詳細は、町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

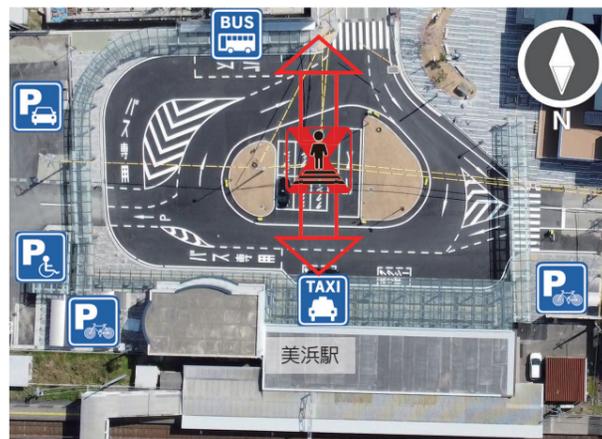
詳細はこちら



※お問い合わせ先 町観光誘客課(担当・中瀬) ☎32-6705

美浜駅前広場が供用を開始しました

美浜駅前広場等の改修工事が完了し、4月1日より供用を開始しました。供用を開始したのはロータリーや駐輪場で、これに伴い路線バスやコミュニティバスのバス停がロータリー内の1カ所に集約され、駅前広場の交通結節点としての機能が強化されました。また、駅西側に今回新たに駐輪可能台数30台の駐輪場を整備しました。ロータリー内の車両通行は、時計回りの一方通行となります。交通ルールを順守し、安全な通行をお願いします。また、歩行者がロータリー内を横断する行為は大変危険ですので、新たに整備



↑新たに整備した美浜駅前広場(航空写真)

したシェルター下の歩行者用通路をご利用ください。なお、ロータリー内は一般車の駐車はできません。駐車される際はロータリー東側の美浜駅利用者専用駐車場をご利用ください。



↑新たに整備した歩行者用通路とシェルター

※お問い合わせ先 町土木建築課(担当・増田) ☎32-6707

JR小浜線利用促進助成をご利用ください

町では、JR小浜線の利用促進を図るため、回数乗車券をご購入いただいた方や団体旅行を実施された方等に対し、費用助成を実施しています。



■助成内容

助成事業名	対象者	助成額	限度額
団体旅行助成 (8人以上で構成する団体が、同じ行程をもとに鉄道を利用した普通団体旅行)	・町内に住所を有する者 (回数券助成は町税滞納者を除く)	団体割引後運賃の5分の1	1人あたり片道400円
学生団体等の助成	・町内の保育園児・小学生・中学生の団体(随行者含む)	小浜線区間の運賃全額	なし
シニア利用者等の助成	・町内に住所を有する満65歳以上で、町税等の滞納がない者 (その他助成との併用不可)	乗車券の3分の1	1回の購入につき1,000円/人
		回数乗車券の3分の1	1回の購入につき5,000円/人

■申請方法

1. 申請書に必要事項を記入の上、JR美浜駅窓口にて切符の購入証明印を受けてください。
※申請書は美浜駅または町まちづくり推進課で入手できます。
2. 証明後20日以内に、申請書をJR美浜駅にご提出ください。
※シニア利用者助成は、運転免許証または健康保険証の写しを添付してください。



町ホームページ

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・藤田) ☎32-6701

連休中のごみ収集・受け入れのお知らせ

■連休中のごみ収集・持ち込み

		ごみ収集	敦賀市清掃センターへの持ち込み
5月	1日(月)	通常どおり収集	午前8時30分～午後4時30分
	2日(火)		
	3日(水)	× 資源ごみ、埋立ごみ、ビン、水銀含有ごみが収集日になっている集落は、5月8日(月)に振り替えて収集します。	×
	4日(木)	× ※古紙・古布は収集します。 資源ごみ、埋立ごみ、ビン、水銀含有ごみが収集日になっている集落は、5月9日(火)に振り替えて収集します。	
	5日(金)	×	
	6日(土)	×	
	7日(日)	×	
	8日(月)	通常どおり収集	午前8時30分～午後4時30分

■敦賀市清掃センターの受け入れについて

- ◎平日 午前8時30分～午後4時30分
- ◎土日祝日 午前8時30分～正午
- ◎休業日 第3日曜日、5月3日～5日、12月31日～1月3日
※12月29日、30日は午前8時30分～午後3時



※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・志賀) ☎32-6703



- 講師 福井県家庭教育 アドバイザー
- 申込 5月1日(月) 5月19日(金)

- 日時 5月23日(火) 午前10時15分～11時15分
- 会場 はあとびあ
- 対象 町内在住の親子
- 定員 10組
- 内容 子どもの発達に合ったおもちゃは、どのようなものを教えてもらい、実際に触れて遊んでみましょう。

美浜町子ども・子育てサポートセンターの催しを
お知らせします

教室・講座・説明会等



- にこにこタイム 「子育てマイスターとふれあい遊びを楽しもう」
- 日時 5月26日(金) 午前10時30分～11時
- 会場 子ども・子育てサポートセンター
- 対象 どなたでも
- 内容 親子でふれあって楽しく遊びましょう。
- 講師 重兼和美氏 (子育てマイスター)
- 申込 不要
- 町子ども・子育てサポートセンター(担当・山田) ☎ 32-0192

PET-CT検査、心臓・脳ドックの検査費用を助成します



- 対象者
 - ・令和5年度中に、50歳～74歳になる方で、本町に1年以上前から住所を有する方。(申請日を基準とし、助成金の請求日まで引き続き本町の住民であること)
 - ・各種医療保険の被保険者、被扶養者。(医療保険制度の医療保険各法)
 - ・町税等を完納している方。(世帯員全員)
- 助成内容
 - ・医療・検診機関で受診した検査料金の約3分の1を助成します。
 - ・検査を複数受診した場合でも、それぞれの検査の助成限度額の範囲内で助成を受けられます。(ただし、重複する検査項目分の料金は、助成対象にならない場合があります。)

検査の種類	募集人数	助成限度額
PET-CT検査(ほぼ全身のがんの発見に有効)	15人	29,000円
心臓ドック(心筋梗塞等の早期発見に有効)	5人	18,000円
脳ドック(脳梗塞等の早期発見に有効)	5人	16,000円

- 申請手続
 - ①検査を受ける医療・検診機関の検査料金を事前にお調べください。
 - ②保険証を持参し、町健康福祉課窓口で申請書に必要事項をご記入ください。
- 助成期限 令和6年2月29日(木)までに請求してください。
- 注意事項
 - ・定員に達した時点で、募集を締め切ります。
 - ・国民健康保険に加入されている方で、脳ドックの助成を受けられる予定の方は、町住民環境課の脳ドック助成を優先的にご利用ください。(広報みはま 令和5年4月号参照)

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・幸光) ☎ 32-6704

イベント・行事

第35回美浜・五木ひろしふるさとマラソン開催に伴う

交通規制にご協力ください

- 交通規制日時 5月14日(日) 午前8時～午後0時30分
- 区間 丹生～佐田交差点
- コミュニティバス丹生線 (ブルースカイ号)の注意事項
- ▼ 丹生発便
 - ・第1便(7時30分発)は通常通り
 - ・第2便(9時5分発)は佐田(9時24分発)からレイクヒルズ(10時2分着)の区間のみ運行となります。
 - ・予約便の第3便は、佐田(11時25分発)から美浜駅(11時47分着)
- ▼ レイクヒルズ発便
 - ・第1便(8時20分発)は美浜駅(8時27分着)までの区間のみ運行となります。
 - ・予約便の第2便は、レイクヒルズ(10時5分発)から佐田(10時34分着)の区間に限つての運行となります。
 - ・予約便は、第3便から通常通りの運行となりますが、道路の混雑状況等により、大幅に遅れる場合があります。



○ 美浜・五木ひろしふるさとマラソン実行委員会事務局 (町生涯学習推進課担当・大同/今安) ☎ 32-6709

若狭図書学習センターの催しを

園芸LABOの催しを

- 第1回ウエルカム！こども企画 ◆えほんの会「春をさがしに」 絵本の読み聞かせを行います。
- 日時 4月29日(土・祝) 午前10時～10時30分
- 定員 親子30名程度
- 費用 無料
- 語り手 若狭図書学習センター司書 ◆押し花カードづくり
- 対象 パンジーやピオラ等で押し花カード(14・8cm×10cm)を作ります。絵や文字を入れることもできます。
- 日時 4月29日(土・祝) 午前10時40分～11時20分
- 費用 100円(1枚)
- 定員 40名程度
- 講師 園芸体験施設 (園芸LABOの丘)職員
- 申込 事前予約が必要です。申し込みは、申し込みフォーム・電話・FAX・窓口から行えます。
- 若狭図書学習センター ☎ 52-2705

- ◆母の日に贈る！ フラワーアレンジメント教室
- 日時 5月13日(土) 午前10時～11時30分
- 費用 1,500円
- 定員 15名
- 申込 予約が必要です。
- ◆母の日に贈る！花の寄せ植え教室
- 日時 5月14日(日) 午前10時～11時
- 対象 高校生以下の児童・生徒 (小学生以下は保護者同伴)
- 費用 2,000円
- 定員 10名
- 申込 予約が必要です。
- 園芸LABOの丘(園芸LABOの丘) ☎ 47-6162

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和4年9月26日～)

美浜西小学校放射線防護対策工事が完了しました

町が、令和4年10月から行っていた美浜西小学校体育館の放射線防護対策工事が完了しました。

この工事は、原子力発電所で万一の事故が発生し、環境中へ放射性物質が放出され、町外（おおい町または大野市）へ避難等が必要となった際に、直ちに避難を開始することが困難な方（要配慮者（※）や住民がその場に留まらざるを得ない場合に備え、避難準備が整うまでの間、被ばくのリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うことができるよう、施設に放射線防護対策を実施するものです。

※要配慮者とは、障がい者や高齢者、要介護認定者、難病患者等をいいます。



↑美浜西小学校体育館

町では、美浜発電所からおおむね半径10km圏内を対象に、放射線防護対策施設を整備しており、これまでに7カ所の施設を整備しています。

- 【整備済みの施設】
- ・丹生公民館（丹生）
 - ・竹波原子力防災センター（竹波）
 - ・山東公民館菅浜分館（菅浜）
 - ・美浜東小学校（佐田）
 - ・東部診療所（山上）
 - ・農村婦人の家（山上）
 - ・美浜中央小学校（河原市）
- 【今回の整備内容】
- ・原子力発電所から放出された放射性物質を除去し、防護空間の気圧を高める（陽圧化）フィルターリングシステムを整備。



↑フィルタリングシステム制御盤（左）と放射性物質を除去するフィルター（右）

体育館ギャラリーに空調設備を設置するとともに、停電発生時にフィルターリングシステムや空調等の設備を稼働させるための非常用発電機を整備。



↑非常用発電機 ↑空調設備

飲料水や非常食等の備蓄物資や車いす、放射線測定装置等の防災用品を配備。



↑飲料水 ↑非常食

【施設収容対象者】
西郷地区の要配慮者及びその介助者と施設運営者（町職員等）の合計208名が収容対象です。

昔話とよまさふ

福井でどうした家康
～家康の視点から迫る「金ヶ崎の退き口」～

2月、美浜町が全国から注目される出来事がありました。NHKBSの番組「英雄たちの選択」に国吉城が取り上げられたのです。

この日のテーマは、家康の視点から迫る「金ヶ崎の退き口」でした。この戦いは、織田信長にとつて最大の危機といわれ、豊臣秀吉が殿を務め活躍したことはよく知られています。

しかし、この時、同行していた徳川家康も危機に瀕していたのです。ここでは番組の復習を兼ねて、この戦いにおける家康の動向を振り返ります。

永禄13年（1570年）4月20日、織田信長が越前朝倉氏攻めのため木下藤吉郎（豊臣秀吉）や徳川家康らを率いて京都を出陣しました。元号が元亀と改まる23日、信長と藤吉郎が国吉城に入り、家康は別所に陣を構えたといえます。（「国吉籠城記」）25日、軍勢は敦賀へ進攻して天筒山城を落とす。翌日朝倉勢が降参し金ヶ崎城が明け渡されました。そして木ノ芽峠を越え一乗谷に進攻しようとしたところ、信長の妹婿で北近江の浅井長政の裏切りが知らされ、信長は家臣を残し急いで京都に逃げ帰りました。

この時、家康は先陣として木ノ芽峠にいたといわれ、最後尾で撤退したと推測されます。撤退の際、家康は朝倉勢の追撃を受け壊滅状態の藤吉郎の部隊を黒浜（佐田付近の浜辺）で助けたといわれています。（「東遷基業」）



↑「英雄たちの選択」収録の様子（国吉城本丸跡より山東地区を望みながら）

その後、家康は国吉城を越え、朝倉勢の追撃から逃げ切ったと考え、松原に陣を構えたといえます。現在には失われていますが、かつて陣跡に碑がありました。また、土井山砦に一時立て籠もったとの伝承もあるようです。

行楽日和の日が増えました。お出かけに町内に残る家康ゆかりの地巡りはいかがでしょうか。

（若狭国吉城歴史資料館）

文芸欄

短歌

夜明け前西の空の満月は
静もる村を優しく照らす
松下 幸子（久々子）
遠のきてゆく友思ひ出づ
川崎 和美（久々子）
困りたる会話途中のものわすれ
互ひに察し笑ひて脱線
三宅 宏（大藪）
外出もマスクで決まる晴れやかな
鏡の前へ再度のチェック
高木 勝美（新庄）
六周り違ひて歌うひな祭り
互ひに声を張り上げあひて
田波 耕（竹波）
春らしく弥生の空は高高と
あれやこれやと気になるばかり
成田 和夫（中寺）
梅止めて本場の人に委ねしも
花の季めぐれば心うごめく
山本 善昭（竹波）
和歌の縁よき先輩に恵まれし
学びしことの多き詠草
かをり歌会美浜支部会員
（故岸本和子さんを偲び）

健康・福祉・子育てに関する
情報をお知らせします。

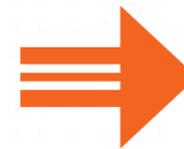
多剤・重複服用に なっていませんか？

いくつもの医療機関を受診し、薬を処方してもらうと、薬の種類が増えて、気づかないうちに同じ作用の薬が重複し、体に負担がかかる恐れがあります。

自分の体を守るために、薬と上手に付き合っていきましょう。

■次のようなことはありませんか？

- 複数の医療機関で薬が処方されている
- かかりつけ医やかかりつけ薬局をもっていない
- お薬手帳を持っていないまたは何冊もある
- 薬が多すぎて服用するのがつらい
- 処方どおりに服用しているのに体調がすぐれない



同じ効用の薬の重複や飲み合わせがよくない場合、体に負担がかかっている恐れがあります。



■多剤・重複服用にならないために

◎処方された薬について知りましょう

医師や薬剤師の説明を聞き、薬局で渡される説明書をよく読んで、作用や副作用を確認しましょう。

◎お薬手帳を1冊持ちましょう

お薬手帳は、処方された薬の名前・量・日数・使用法等を記録できる手帳です。薬の飲み合わせや重複をチェックするため、必ず1冊にまとめて持つようにしましょう。

◎重複受診をしないようにしましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診すると、同じ作用の薬が重なり、体に危険が及ぶ場合があります。治療や診断に不安がある場合は、納得のいくまで相談しましょう。

◎薬は適切な量を処方してもらいましょう

薬はもらいすぎず、適切な量を処方してもらうことで、医療費の節約にもつながります。



■かかりつけ医・かかりつけ薬局をもちましょう

◎かかりつけ医とは

かかりつけ医は、自分の病歴や体質等を把握してくれている、何かあったときに相談すると決めているお医者さんです。かかりつけ医は、精密検査や高度な医療が必要になった場合に他の医療機関や専門医を紹介してくれます。



◎かかりつけ薬局とは

かかりつけ薬局は、処方箋をもらったら、必ずそこで調剤してもらうと決めている薬局のことです。複数の医療機関を受診する場合は特に便利で、薬の飲み合わせや重複をチェックしてもらえます。その人の薬歴を把握した上での助言を受けることができる等、多くのメリットがあります。

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・繁田) ☎32-6704



子サポ探検



子ども・子育てサポートセンターに遊びに来てね♪

子ども・子育てサポートセンターには、すこやかひろばや中庭、小さなお子さん向けの遊具、おもちゃがあります。「お子さんにあった遊びが知りたい」、「広い場所で遊ばせたい」、「同年齢のお子さんと遊ぶ楽しさを味わってほしい」というときに気軽にご利用いただけます。

毎日、午前10時45分頃からは「にここタイム」という時間を設け、お家の方とお子さんが楽しく過ごせる遊びの時間を提供しています。

親子でできる
手遊びや体操、
季節に合わせた
簡単な製作、
天気の良い日
には散歩に出



かけることもあります。

目の届くところでお子さんを遊ばせながら、ちょっとした疑問を保育士や保健師に話したり、同じくらいのお子さんをもつパパやママと知り合う等、子ども・子育てサポートセンターを活用して保護者の皆さんもリフレッシュしてください。

他にも、季節の行事や栄養相談、子育て相談等を行いながら、子育てのサポートをしています。

子育てに関する情報は、毎月発行している「みはま子育てわくわくカレンダー」や町ホームページ、SNS(Facebook・Instagram)で発信しています。ぜひ、ご覧ください。



↑ Instagram



↑ Facebook

※お問い合わせ先 町子ども・子育てサポートセンター(担当・山田) ☎32-0192



福井県版エンディングノート「つぐみ」を通じて あなたの思いを伝えよう

もしもの時のために、ご自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療、ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する「人生会議(ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」の取り組みが重要となっています。

誰でも、いつでも、自分の思いや考えを伝えられなくなることが、思わぬ事故や病気によって急に訪れたり認知症の進行によって、だんだんと訪れたりすることがあります。だからこそ、元気なうちから考えておくことが大切です。

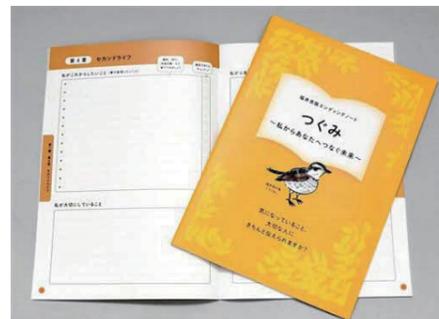
エンディングノートとは、自分にもしものことが起こった時に備え、あらかじめ家族や周りの人に伝えたいことを書き留めておくノートや手紙のことです。

この度、医療面や介護の方法、人生の生きがい等、大切な人に心の声や自分の考えを伝えることで、最後まで自分らしく暮らすことを目指し、意思決定の支援ツールとして、福井県版エ

ンディングノート「つぐみ」が作成されました。伝えておきたい思いをこのノートに書きこんでおいてみてはいかがでしょうか。

ご希望の方には、地域包括支援センター窓口で無料配布します。

お気軽にお問い合わせください。



※お問い合わせ先

町健康福祉課地域包括支援センター
(担当・飯田) ☎32-6704

慶弔

3/1～3/31受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
岸本 珠里	女	良太・理	松原
仲島 玲翔	男	太雅・沙也香	河原市

◎ご結婚

氏名	住所
和田 祥暢 & (瀨野) 沙織	佐野
久木 健人 & (安藤) 郁奈	郷市

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
加茂 政美	久々子	87	加茂 孝
山路 義隆	太田	86	山路 保子
山口 キクノ	河原市	96	山口 國重
石場 絹代	菅浜	90	石場 強
澤田 信子	興道寺	93	澤田 富士男
柄本 千代子	大藪	80	柄本 宗寿
浅妻 久嗣	大藪	88	浅妻 智
玉井 敦子	久々子	85	井上 さとみ
岸本 和子	松原	92	岸本 三左夫
山上 敬子	菅浜	94	山上 道正
中嶋 宇一郎	新庄	73	中嶋 節子
大野 満	中寺	67	大野 早苗
高木 佳子	河原市	89	高木 賢治
藤本 利一	新庄	84	辻 正宣
今井 富美子	松原	74	今井 健二
武田 利満	久々子	81	武田 和満

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

町人^{まちびと}さん



4月1日付けで、美浜町地域おこし協力隊に着任し、美浜町レイクセンターで観光ガイドを務める

小田 将史 さん (郷市)
(関連第9頁)

*地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。
観光ガイドは、女性が務めることが多いですが、その仕事に男性として挑戦したいと思い応募しました。
愛知県出身なので東海地方と北陸地方の交流にも貢献できるような仕事をしたいと思っています。

*どのような観光ガイドになりたいですか。
これまで、お笑い芸人やアナウンサーの仕事を経験しており、それを生かして、お客様に満足してもらえる観光ガイドになりたいと思います。

人口の動き

人口総数	8,936人(-49)
男	4,390人(-21)
女	4,546人(-28)
世帯数	3,640世帯(-4)
出生 2人	死亡 17人
転入 40人	転出 74人
応援クルー(※)	240人(+2)
マイナンバーカード交付率 81.0%	
令和5年4月1日現在※()は前月比	

※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を愛し、応援して下さる方」のこと。



町の情報や応援クルーの情報はこちら！



HAPPY BIRTH DAY

はじめてバースデー

5月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



5.27
一勢 悠乃 ちゃん (山上) 父・佳樹さん 母・裕美さん
いに、夜起こしに行っておめんね。
いつも遊んでくれてありがとう！

「はじめてバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月に送付しています。
ぜひ、ご応募ください。



5.26
丸杉 昴 くん (河原市) 父・侑弥さん 母・真夜さん
歩くの大好き！
いろんなところに行きたいな！



5.24
幸文 華馬 くん (丹生) 父・佑馬さん 母・芽香さん
お兄ちゃんとおいかけっこするのが大好きなんだー楽しいよー！

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

広報クイズ

広報みはま5月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」や「ゆ」、「・」、「が」、等も一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- 子ども・子育てサポートセンターに遊びに来てね♪
- (○○○○○○)の減免申請について
- ③連休中の○○○○○○○○○○○○○○○○●○○○○○
- ④育児講座「○○○○○○○○●○」
- ⑤三方五湖エリアで○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○●○○○○○を支援します

●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【二次元コード】



締め切りは、5月10日(水)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

- 4月号の答え おはなみ
- 応募者総数は14人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

■くらしのカレンダー■

令和5年5月

1 (月)		連休中のごみ収集・受け入れは16頁をご確認ください。	17 (水)	10:00～ミニさくらんぼ(佐田公民館) 古紙 (東地区)
2 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」 ※障がい者(児)相談(はあとびあ)		18 (木)	狂犬病予防注射※13頁参照
3 (水)	憲法記念日		19 (金)	
4 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)		20 (土)	
5 (金)	こどもの日		21 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:00～町民野球大会(総合運動公園野球場)
6 (土)			22 (月)	
7 (日)	8:00～ハートフル朝市 (久々子水神公園広場)		23 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
8 (月)		24 (水)		
9 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)	25 (木)	13:00～1歳6か月児健診 (子ども・子育てサポートセンター)	
10 (水)	古紙 (北・南地区)	26 (金)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん健診・肝炎検査](はあとびあ) 13:00～総合健診[生活習慣病健診・肺・大腸・ 子宮・乳がん健診・肝炎検査](はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	
11 (木)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん健診・肝炎検査](はあとびあ) 13:00～総合健診[生活習慣病健診・肺・大腸・ 子宮・乳がん健診・肝炎検査](はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	27 (土)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん健診・肝炎検査・歯科健診] (はあとびあ) 13:00～総合健診[生活習慣病健診・肺・大腸・ 子宮・乳がん健診・肝炎検査] (はあとびあ)	
12 (金)	10:00～1歳児教室(はあとびあ)	28 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)	
13 (土)	10:00～結婚相談(はあとびあ) 15:00～五木ひろしふるさとチャリティ コンサート(総合体育館)	29 (月)		
14 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:50～第35回美浜・五木ひろしふるさとマラソン (丹生特設会場)	30 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)	
15 (月)		31 (水)	13:30～母親学級(はあとびあ)	
16 (火)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん健診・肝炎検査](北西郷公民館) 13:00～総合健診[大腸・子宮・乳がん健診] (北西郷公民館) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～弁護士法律相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	5月の納税 [納期限 5/31(水)] ※納付は口座振替が便利です。 固定資産税 [1期]・軽自動車税 (種別割) [全期]		

● イベント ● 健康診査・検診 ● 子ども行事

- 行事の予定は、4月14日現在のもので、一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
-  網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- ぐみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日～5日、12月31日～1月3日を除く)の午前8時30分～正午です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

美浜町防災アプリのダウンロードをお願いします

美浜町防災アプリでは、防災情報や停電情報、おくやみ等の生活に関わる緊急情報等をお知らせしています。ぜひ、ダウンロードの上、ご利用ください。

ダウンロードはこちら



こんにちは
まちはま
まちづくり推進課です。

新年度が始まり、半月が経ちました。毎年、年度末と年度始めは忙しいと覚悟を決めて挑みますが、どうしてもバタバタしてしまいます。

今年の1月号から連載している「私の夢、語ります」のコーナーで、今月は、いつか新種を見つけたという男の子を紹介しました。

広報担当として、さまざまな現場に出向き取材をしています。このコーナーの取材が一番ワクワクして楽しいです。

事前に書いてもらった夢を読み、取材に向かいますが、文字だけでは分らなかった夢の詳細を目を輝かせながら語ってくれる子どもたちは、いつでも元気をもちています。

そんな私の子ども頃の夢は、プロ野球選手になること。今からもう一度、この夢に向かって頑張ってみるのも悪くないのかもしれない。(育)